

柏市自立支援協議会 全体会 連携機関報告シート

<p>【連携機関名】 柏市医療的ケア児等支援連絡会</p>	<p>【事務局担当】 社会福祉法人ぶるーむ</p>
<p>1. 開催報告</p> <p>(1) 第2回 連絡会 (本会)</p> <p style="margin-left: 20px;">2019年10月24日開催</p> <p style="margin-left: 20px;">《議題》</p> <p style="margin-left: 40px;">① ワーキングの進捗状況報告</p> <p style="margin-left: 40px;">② 通学支援に関するアンケート結果報告・ヒアリング報告</p> <p style="margin-left: 40px;">③ 千葉県アンケート結果報告</p> <p style="margin-left: 40px;">④ ノーマライゼーションかしわプランの評価・振り返り</p> <p style="margin-left: 40px;">⑤ その他 (イベント開催案内等)</p> <p style="margin-left: 40px;">① ワーキンググループの進捗状況報告</p> <p style="margin-left: 40px;">● 普通級への医ケア児受け入れ支援体制について (2019年8月19日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒課より、来年度に市内小学校に入学する医療的ケアを必要とする児童の受入態勢の整備に向けて報告があった。 ・ 具体的には調整中であるが、市内訪問看護ステーションと市が契約し、訪看から各学校に看護師が訪問する方式や、医ケア児が利用している訪看が学校を訪問する等の方式のメリット・デメリットを比較検討している。 ・ 今後の課題に、看護師の確保や募集の工夫、研修の機会の確保と充実、看護師へ指導助言を行う指導医の確保及び相談体制の確立等が挙げられた。 <p style="margin-left: 40px;">● 医ケア児の通学支援について (2019年9月18日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行制度下で対応可能な通学支援について障害福祉課より報告があった。 ・ 放課後デイすくすくで行っている通学支援について報告があった。 ・ どのような条件を整えば通学支援を実施できるかについて意見交換。 <p style="margin-left: 80px;">特別支援学校における通学支援は市の教育委員会では担いきれない課題のため、要望書を作成し、県へ提出するべきではとの意見があった。当連絡会と特別支援学校で協力し、要望書を作成することを検討していく。</p> <p style="margin-left: 40px;">② 通学支援に関するアンケート結果報告・ヒアリング報告(10月22日実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当事者7家族(保護者10名, 本人3名), 支援関係者4名が参加 ・ グループワークでは「現在感じている危険や負担感」と「通学支援に必要な条件」, 「スクールバスを利用したいか, したくないか」を議論 ・ 児童の状態像や家庭の状況等により求められる支援が異なることから意見も様々だった。実際に送迎対応で保護者が負担を感じており, 対応の検討が必要だと認識できた。 	

2 トピックス

- ・医ケアママサロンを2019年11月23日に、災害対策をテーマに開催した。
- ・ノーマライゼーションかしわプラン策定に向けた提言案についてワーキング開催
2019年11月28日、12月20日
※ 内容は別紙参照
- ・医ケア児の通学支援について、座長・副座長が松戸特別支援学校を訪問。県レベルでの協議を進めることについて校長と意見交換

【今後の活動予定】

第3回連絡会（本会）…2020年2月6日（木）開催予定

ワーキンググループ 各ワーキングを3か月程度毎に開催予定

<p>【連携機関名】 柏市障害者差別解消支援地域協議会</p>	<p>【事務局担当】 障害福祉課 吉田</p>
<p>1. 開催報告</p> <p>(1) 第1回柏市障害者差別解消支援地域協議会（6月21日開催） （テーマ） ア 平成30年度の障害者差別相談受付状況の報告について イ 差別解消に関する啓発活動について ウ その他</p> <p>(2) 第2回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（11月8日開催） （テーマ） ア 令和元年度の障害者差別相談受付状況の報告について イ 差別解消に関する啓発活動及び研修について ウ その他</p> <p>(3) 第3回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（2月6日開催予定） （テーマ） ア 差別相談状況について イ 啓発活動について ウ その他</p> <p>2. トピックス</p> <p>(1) 障害者差別相談受付状況について 平成30年度は5件、令和元年上半期(4月～9月)は3件相談があったことを報告。平成28年から地域支援課に柏まつりについての相談があった件は、柏商工会議所と地域支援課が協議し、本部に障害者対応スタッフを配置し解決している。障害者対応スタッフ配置の際は、地域支援課より相談を受けた。</p> <p>(2) 研修について 柏市権利擁護ネットワーク会議の報告参照。</p> <p>(3) 啓発活動について 啓発活動に使用する、啓発用ボールペン作成のための予算について、千葉県に令和2年度人権啓発活動地方委託事業実施計画書を提出した。 また、啓発活動に使用するチラシの作成についても、来年度は検討する。</p>	

<p>【連携機関名】 柏市障害者権利擁護ネットワーク会議</p>	<p>【事務局担当】 障害福祉課 小野</p>
<p>1. 開催報告</p> <p>(1) 第1回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（6月21日開催） （テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 令和元年度柏市障害者権利擁護ネットワーク会議活動方針について イ 障害者虐待の通報・届出の受付状況について ウ 障害者虐待対応の検証 エ その他 <p>(2) 第2回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（11月8日開催） （テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 当事者ヒアリングの進捗状況と検討について イ 障害者虐待の通報・届出の受付状況について ウ 障害者虐待対応の検証について エ 普及啓発活動について オ その他 <p>(3) 第3回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（2月6日開催予定） （テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ノーマライゼーションかしわプラン提言について イ 令和元年度虐待状況報告について ウ 普及啓発活動について エ その他 <p>(4) 第1回柏市障害者権利擁護研修会（7月17日開催） （テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 障害者虐待防止法の概要と実践について イ 講師 萩原 得誉氏 東葛総合法律事務所 弁護士 ウ 対象者 障害福祉サービス事業所新任職員等 エ 参加者 61名 <p>(5) 第2回柏市障害者権利擁護研修会（10月25日開催） （テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア アンガーマネジメントの基礎（入門編） イ 講師 阿部 美樹雄氏 社会福祉法人みずき福祉会 理事長 ウ 対象者 障害福祉サービス事業所従事者等 エ 参加者 43名 	

(6) 第3回柏市障害者権利擁護研修会(2月14日開催予定)

ア 障害平等研修

イ 講師 NPO 法人障害平等研修フォーラム ファシリテーター

ウ 対象者 障害福祉サービス事業所職員等

2. トピックス

(1) 当事者ヒアリングについて

今年度は当事者ヒアリングを実施し、その声を自立支援協議会全大会及び各部会に報告し、当事者の声を届けることが出来た。

(2) 柏市障害者権利擁護研修について

第3回の研修は、第2回研修アンケートから「障害者差別」について知りたい、深めたいとの意見が多かったことから、「障害平等研修」を開催する運びとなった。障害平等研修は、世界36か国で387名の当事者ファシリテーターが育成され、障害者に対する差別の撤廃に向け普及啓発に取り組んでいる。日本では、NPO 法人障害平等研修フォーラムが主体となり活動をしており、現在は東京オリンピックのボランティア研修等でも講師を務め普及啓発活動に取り組んでいる。

(3) 令和2年度の活動テーマについて

令和元年度は障害者当事者の声などを「聴く」をテーマに、障害者権利擁護ネットワーク会議のテーマと掲げ検討や活動を行ってきた。来年度のテーマについて、コア会議にて検討し、「当事者を巻き込み、知ってもらう」相互理解の普及活動を目指していくことで一致した。

<p>【連携機関名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会</p>	<p>【事務局担当】 障害福祉課 阿知波</p>
<p>1 開催報告</p> <p>(1) 第2回柏市地域生活支援拠点運営協議会（令和元年10月23日開催） 次第は以下のとおりだが、度重なる天災を受け、災害対策や福祉避難所についても協議した。第2回より、地域生活支援拠点にて協議会を開催している。</p> <p>ア 各拠点の活動報告 イ 地域生活支援拠点実務者会議より報告 ウ 柏市の課題や拠点に期待すること ノーマライゼーションかしわプランアンケート結果について</p> <p>(2) 第3回柏市地域生活支援拠点運営協議会（令和2年1月27日開催） 柏市の相談支援の充実に向けた取り組み等について協議した。</p> <p>ア 各拠点の活動報告 イ 拠点に対する評価と周知について ウ 柏市の課題や拠点に期待すること</p> <p>2 トピックス（第3回協議会より） 拠点到求められる5つの機能について、ガイドラインに沿って代表者会議において協議していく。</p> <p>(1) 拠点の周知について 現在は各拠点ごとに研修や学園祭でチラシを配布したり、会議等で拠点の説明を行っている。ホームページの開設準備も出来ている。 地域の福祉サービス事業所にとどまらず、介護保険や医療、教育等の関係機関、市民へ向けた周知が必要である。</p> <p>(2) 相談支援機能の充実について 相談支援専門員の人材不足について、量を増やすことも大事だが、質の向上も急務である。国へ何（報酬等）を求めるのか、市として何が補完できるのかを検討していく。4拠点のスーパーバイズ機能の強化を意識する。</p> <p>(3) 柏市の相談支援の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談窓口（令和3年度予定）との連携 ・拠点が担っている計画相談の位置づけの見直し ・4拠点の一次相談の地区割り（たらい回しを無くす） ・柏市障害福祉課の体制（職員配置：地区担当ワーカーの復活、相談：窓口での案内方法や引継ぎ）等についても意見が出された。 	
<p>【令和2年度の活動予定】</p> <p>1 委員の選出：令和2年度に委員改選を行う（自立支援協議会に合わせる）。</p> <p>2 開催頻度：年度内に3回開催予定</p> <p>3 開催場所：地域生活支援拠点で実施予定（しょうなん、ぶる一む、あおば）。</p>	